

2019(令和元)年度 第5次総合計画施策評価シート【年度初め用】

担当部署	総務課	政策調整課	
------	-----	-------	--

基本目標	3 みんなで“守る”～思いやりのある安全・安心なまちづくり～
施策	15 コミュニティ

施策の方向・内容		具体的な事業内容
1	地域自治・コミュニティ活動の推進	(総務課) 地域活動の拠点である地域公民館の施設整備を支援する。 地域における役員の高齢化など、課題解決に向けた聴き取り・検討を行う。
2	多文化共生の推進	(政策調整課) 多文化共生事業・日本語教室事業を住民活動団体に委託し、外国人を対象に年間100回(木・日曜日)程度の日本語教室及び困りごと相談事業を始め、多文化理解講座、防災に関する講座、交流会、町民まつりへの参加などの事業についても定期的に行っていく。行政として積極的に関与し、事業計画どおり円滑に実施出来るよう支援していく。
3		
4		
5		
6		

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値					
		目標値(R04)	H30年度	R元年度	R02年度	R03年度	R04年度	
1								
2								
3								
4								

前年度の評価を踏まえた今年度の課題
1) 地域公民館は、地域自治・コミュニティの活動拠点となる施設であるため、その整備費を支援することで、地域活動の推進を図りたい。 地域における役員の高齢化など、課題解決に向けた検討が必要となっている。 2) 委託先の扶桑町多文化共生センターの参加ボランティアメンバーの固定化や減少、スキルアップの機会の不足及び学習者が企業に派遣されている実習生に偏っている点が課題である。

前年度の評価を踏まえた今年度の改善策・方針
1) 地域コミュニティ活動のための備品購入費に対するコミュニティ助成(宝くじ助成)については、毎年度2地区ずつ申請しているが、平成30年度、令和元年度と2年続けて1地区のみの採択となっている。採択を得られるように地区への支援を行うとともに、地区に対する補助の在り方についても研究していく必要がある。 地域における役員の高齢化など、課題解決に向けて、聴き取りを行う。 2) 各種イベント会場や報道機関等において、扶桑町多文化共生センターのPRやボランティア募集を積極的に展開もらうように努める。町内の日本語に不自由な思いをしている住民に対し、チラシの配布やホームページ等で周知するよう努める。